

令和8年度地域課題分析型人口減少対策支援事業企画運営等業務の企画提案に関する質問への回答

No	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
1	業務仕様書	2	(2) 令和8年度に新たにワークショップを実施する市町への支援【イ仮説検証等のための調査の実施①②】	「地域住民等を対象とした調査（インタビュー調査等）を実施すること」とあるが、インタビュー調査を実施する際の対象者の選定は県及び市町において対応とあるが、インタビューを実施する人数や場所、回数は想定や規定はあるか。	インタビュー調査の人数・場所・回数について、仕様書上で規定は設けていません。 業務仕様書2ページ「2 業務の仕様に関する事項（2）イ②」に記載のとおり、「効果的な調査が実施できるよう、ワークショップにおいて課題分析の補助や調査方法の提案等を行うこと」としてあります。ワークショップにおいて、各市町の検討状況に応じた効果的な調査方法（人数・回数・形式・会場等）を各市町に提案いただきたいと思います。 参考までに、令和7年度は各市町、1件（個人または団体）あたり約90分のインタビューを1日で3回実施しました。会場は、各市町が手配した会議室等を使用しています。
2	業務仕様書	2	(2) 令和8年度に新たにワークショップを実施する市町への支援【ウ事業展開及び実施に向けたフォローアップ①】	「政策形成に向けた情報提供や助言等の支援すること」とあるが、この支援内容について貴県が期待する成果物を教えてほしい。	当該支援は、事業の企画立案までで終わらせず、継続的なフォローアップを行うことにより、各市町において次年度事業展開されることが成果と考えています。 事業予算化されるまでの各市町に対して情報提供等を行った資料を提出いただくとともに、支援内容が分かる記録を提出いただきたいと思います。
3	業務仕様書	2	(3) 令和7年度にワークショップを実施した町への支援【イ個別のフォロー	同上 （「政策形成に向けた情報提供や助言等の支援すること」とあるが、この支援内容について貴県が期待する成果物を教えてほしい。）	No.2と同様に、継続的なフォローアップを行うことにより、各市町において次年度事業展開されることが成果と考えています。 令和7年度に検討した事業の進捗状況等の整

			アップ実施③】		理、事業化に向けた論点の整理、政策形成に必要な補足情報をまとめた資料など、支援内容が分かる記録を提出いただきたいと思います。
4	業務仕様書	2	(3) 令和7年度にワークショップを実施した町への支援 【イ個別のフォローアップ実施③】	令和7年度の検討事業内容を確認することはできるか。難しい場合既存事業の改善なのか新規予算獲得が必要な事業の検討なのか教えてほしい。	令和7年度のワークショップで検討された事業には、次のようなものがあります。 <葛巻町> ・住まいの確保応援事業 ・若者が集まりやすい場を創出する若者交流事業 ・企業の魅力発信力向上事業 <岩手町> ・こどものための施設化事業 ・子育てにやさしい店舗認証制度、店舗改修等費用補助金 ・子育て支援住宅等整備事業 ・子育て情報発信事業 ・誰もが安心・安全に利用できる道路整備事業 なお、上記事業には、既存事業の改善と新規事業のどちらも含まれます。 当事業においては、既存事業の改善または新規事業の検討のいずれか一方に特定して議論を進めるものではありません。各市町が抱える課題や検討状況に応じ、柔軟に取り組んでいただくことを想定しています。
5	業務仕様書	3	(4) ワークショップの実施状況等をまとめた報告書の作成	昨年度の報告書や報告書概要を確認したい。	報告書は公開することはできません。 事業の実施状況を踏まえ、最終的に報告書に記載いただきたい主な項目等を示したいと思います

					<p>が、現時点では、主に次のような内容を記載いただきたいと考えています。</p> <p>1 令和8年度に新たにワークショップを実施する市町への支援</p> <p>(1) ワークショップの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各回の実施日、構成、参加者 ・ 議論の概要 ・ 使用資料やワークシートの内容（抜粋可） <p>(2) 地域課題の整理結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップで作成したロジックモデルの整理内容 ・ 住民調査（インタビュー等）の結果整理 <p>(3) ワークショップで検討した事業案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討の流れ ・ 導出された事業アイデア ・ 事業化に向けた方向性 <p>(4) フォローアップの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討事業の進捗、実施可能性の整理 ・ 事業化に向けた論点 <p>2 令和7年度にワークショップを実施した町への支援</p> <p>(1) フォローアップの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各回の実施日、構成、参加者 ・ 検討事業の進捗、実施可能性の整理 ・ 事業化に向けた論点
6	業務仕様書別紙	2	(1) R8 新規3市町（八幡平市・雫石町・紫波町）人口減少対策検討ワークシ	「首都圏ネットワークとの意見交換会実施」とあるが、この意見交換会の会場確保や企画、運営、参加者調整などは受託者が実施する想定なのか。（または想定されるイベントがあるのか）	<p>県（盛岡広域振興局）では、首都圏に居住する盛岡管内出身の若者で構成されるネットワークとのつながりを活かし、メンバーからの意見を踏まえて人口減少対策に関する施策立案に取り組むこ</p>

		<p>ヨップ／主観調査 (4月～9月)等</p>		<p>とを目的に、令和6年度から意見交換会等を実施してきました。</p> <p>当意見交換会は、業務仕様書2ページ「2業務の仕様に関する事項(2)イ①」に記載の「地域住民等を対象とした調査(インタビュー調査)」の一環として、各市町の検討状況に応じて、県外に在住する若者等に対して調査を行う場合に活用いただけます。</p> <p>また、業務仕様書2ページ「2業務の仕様に関する事項(2)イ②」に記載のとおり、会場の確保や調査対象となる参加者の選定は県が行うこととしております。</p>
--	--	------------------------------	--	---